



角田 敏夫
経歴
平成26年埼玉県警警務課監察官を経て、平成27年9月小川警察署長に就任

果があります。町と小川警察で協力し、より効果の高いパトロールを行いたいですね。

岩澤 埼玉県内でも、中学生が誘拐・監禁されるという痛ましい事件が起こりました。名前を呼び、知っている人だと安心させて連れ去るという手口でした。本当に悲しい事件です。今でも十分パトロール等を行っていただけていますが、更にいっそう犯罪が起こりにくい地域とするため、嵐山町では「防犯モデル地区事業」を行っていています。昨年度から現在まで3地域が手を挙げてくれました。小川警察署の方を呼び、研修を行ったり、危ない場所や暗い場所などを確認し、危険箇所マップの作成を行ったり、防犯灯を新しく設置したりもしています。

振り込め詐欺について

角田 大変効果的な取組だと思います。意識を高めるためには講演も必要ですが、一緒にパトロールをしながら防犯について話をする、自分の身に置き換えて考えてもらえます。警察としても、その地域に暮らしている方の意見を聞きながら危険な箇所を知ることができます。

岩澤 振り込め詐欺の予兆電話があると、小川警察署から町へ情報提供をしてもらい、防災無線等で情報発信しています。被害状況は。

角田 県内では件数が209件、被害は約20億です。これでも、昨年よりは13億マイナスです。嵐山町でも3件の被害があ

り、注意が必要です。

岩澤 最近、手口が巧妙化・多様化しているようです。いわゆる「オレオレ詐欺」以外には、どのような手口があるのでしょうか。

角田 最近、息子をかたるオレオレ詐欺以外にも弁護士や銀行員など役者が次々に出てくる劇団型詐欺もあります。忘れ物が届いたと駅員をかたる者から連絡があり、次に弁護士を名乗る人間が出てくる。冷静に考える時間を与えません。

岩澤 警察ではどんな対策をとっているのでしょうか。

角田 振り込め詐欺被害を水際で食い止めるよう、銀行等とも連携しています。ですが、犯人も被害者を移動させたり、直接手渡しを指示したり、被害者に詐欺と気づかせないよう様々な手口を使います。十分注意していただきたいと思います。

岩澤 還付金詐欺なども問題となっていますね。

角田 還付金詐欺は、実際にある還付金や給付金の話題につけこんでくるため、詳しい知識がない方が被害に遭っています。実際の還付金のお知らせに、「A」電話での連絡はしません」

TMを操作させて受け取りはできません」などと記載していたようにお願いしています。

岩澤 町では、交通安全母の会や民生委員が高齢者の世帯へ伺い、振り込め詐欺被害に遭わないための注意喚起や交通安全の話などを行っています。警察でも訪問などを行っていますね。

角田 警察でも、独居世帯へ訪問し、お話をさせていただいています。また、ゲートボール大会や老人会などに出向き、注意喚起を行っています。

岩澤 被害の事例を紹介し、先回りして注意喚起することが必要ですね。

交通安全と運転免許自主返納について

岩澤 高齢者の交通事故については、注目が集まっているところです。やはり、件数は多いのでしょうか。

角田 交通事故の死者は県内で151人です。昨年よりは少ないですが、5割以上が高齢者です。人口の比率も関係していますが、嵐山町でも高齢者の割合が多いです。高齢者の事故率の増加から、高齢者に対する運転免許制度が改正されます(※p17参照)。

岩澤 私自身も高齢者の運転免許の講習に行きましたが、やはり講習は必要だと感じます。運転に気をつけなければという意識付けにもなります。

角田 運動機能や認知能力は老化と共に衰えます。それは仕方ないことです。運転に自信がない方は無理をせず、運転免許の自主返納をおすすめします。

岩澤 ドライバー歴が長いと、自分は大丈夫だと思ってしまう。気をつけなければいけません。嵐山町では、高齢者の事故率の高さを受け、運転免許を自主返納された高齢者に対し、タクシー助成券を差し上げる取組を急遽1月から開始しました。

知っていますか?

嵐山町高齢者運転免許自主返納支援について

タクシー助成券

運転免許を自主返納した高齢者の方に、タクシー助成券等を差し上げています。詳しくは、長寿生きがい課(☎62-0718)へお問い合わせください。



特集

安全安心なまちづくりを目指して ～防犯と交通安全を考える～



対談

小川警察署長
角田 敏夫

嵐山町長
岩澤 勝

1月10日は110番の日。嵐山町のマスコットキャラクターむさし嵐丸が一日警察署長に任命され、ベイシア嵐山店で「110番の日適正推進キャンペーン」を行いました。嵐山町は、防犯や交通安全推進のために小川警察署と協力し、様々な活動を行っています。今回は、小川警察署長と嵐山町長が「防犯と交通安全」をテーマに対談を行いました。被害に遭わないためにはどうしたらいいのか?地域としてどんな取組ができるのか?皆さんも、この機会に考えてみてはいかがでしょうか。

むさし嵐丸一日警察署長について

角田 小川警察署長(以下 角田) 1月10日、むさし嵐丸くんが一日警察署長となっていたいただきました。ご協力いただきありがとうございます。

岩澤 町長(以下 岩澤) キャンペーンはどうでしたか。

角田 嵐丸くんがいるおかげで近寄ってきてくれる方も多かったです。キャラクターがいると親しみが持てるので、啓発の効果が上がります。

岩澤 この地域の犯罪の特徴を説明していただけますか。

角田 県内の犯罪被害の絶対数は減少傾向にあります。その中で多いのは、自転車盗や器物損

県内や小川警察署管内で多い犯罪について

岩澤 昔は、侵入盗といって、泥棒が家の中に侵入するパターンが多かったように思います。家人と鉢合わせて傷害事件に発展してしまつ例もありましたね。

角田 そうでしたね。しかし、侵入盗の被害は昨年と比較しても約半数の件数となり、減少しています。また、盗難の連続発生も少ないです。盗難に成功し、この地域は盗難がしやすいと思われる連続発生が起こるので、地域で犯罪を起こさにくい雰囲気を作ることが大切です。



岩澤 地域の力が必要ですね。

嵐山町の防犯活動について

岩澤 嵐山町では、ナイトパトロールを月1回、青色回転灯パトロールを月8回行っています。

角田 パトロールの効果は非常に大きいと思います。犯罪者は、防犯活動をする人が多い地域を嫌がるものです。地域の目が行き届いていると思うと、犯罪を起こそうと思わなくなります。

岩澤 地域の人が見ているぞとアピールすることが大切なんです。

角田 パトランプの光だけでも犯罪抑止が期待できるため、パトカーで先導するのも効果があると思います。青色回転灯も効